

全国堆肥センター協議会

平成15年 3月12日

Eメール通信 第9号

全国堆肥センター協議会

全国堆肥センター協議会の幹事会及び総会が開催

3月10日午前、東京・虎ノ門パストラルにおいて全国堆肥センター協議会の幹事会を開催し、平成14年度の事業の

実施状況の報告及び平成15年度の事業計画について協議し、引き続き午後に同所において、全国団体、県協議会並

びに都道府県及び地方農政局の担当者の多数の出席を得て、総会を開催した。

14年度の事業実施状況及び15年度の事業計画については、原案どおり承認された。引き続き「講演会」を開催し、

畜産環境対策について 農林水産省生産局畜産企画課 末国富雄課長補佐

環境保全型農業の推進について " 農産振興課 坂本匡司係長

資源循環と耕畜連携を進めるためのコントラクターの役割 九州大学大学院農学研究院

福田晋助教授

県たい肥センター協議会の活動状況

茨城県たい肥利用促進協議会 小林健一氏

岡山県良質堆きゅう肥利用促進協議会 大谷啓介氏

それぞれご講演を頂き、有意義な総会となった。

ふん尿処理施設の整備状況

農林水産省は、「家畜排せつ物処理施設の都道府県別整備状況」を明らかにしたが、それによると、畜産粗生産額上位

10道県のうち、施設整備が最も進んでいるのは鹿児島県で、整備率（整備が必要な戸数に対する00～02年度整備済み

戸数の割合）は70%だった。10位は茨城県で22%。その他は、表のとおりで、施設整備の進捗状況は「西高東低」を示し

ている。「西高東低」の理由については、「西は畜産県なので県や市町村が整備の際に補助金を上乗せしている。東は意

識が低いようだ。」としている。

整備状況

県名	整備率	県名	整備率	県名	整備率
鹿児島	70%	宮崎	59%	群馬	26%
千葉	69	北海道	56	茨城	22
熊本	68	岩手	40		
愛知	62	栃木	34	全国平均	49

第3回畜産環境国際シンポジウム参加のお知らせ

(財)畜産環境整備機構主催(共催:日本畜産学会、後援:農林水産省他)による「第3回畜産環境国際シンポジウム」の開催

(3.27~3.28)が近くなりましたが、まだ、定員に若干の余裕があるようです、ご都合のつく方の参加をお待ちしております。

(シンポジウムの詳細は、Eメール通信 7をご覧ください。)

地方記事等の連絡について

都道府県堆肥センター協議会で行う事業(イベント、研究会等)や、地方新聞等のマスメディアで取り上げられた畜産環境や堆肥、堆肥センター関連の記事をそのまま事務局あて送って下さい、このメール通信に登載し、全国の皆様にお知らせしたいと思っておりますので、何か記事がありましたらお知らせ下さい。